

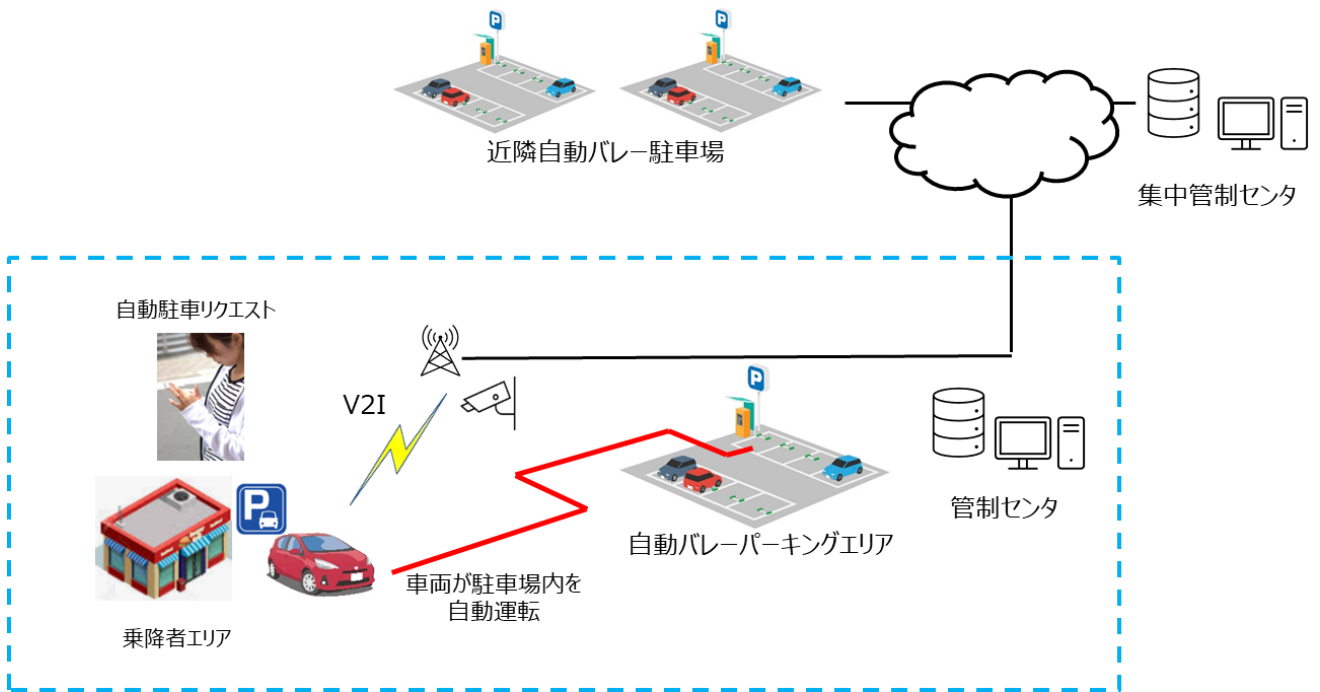
実証実験概要

<p>実施内容</p>	<p>混在交通環境において、同時複数車両の自動運転車を用いた自動バレーパーキングの動作検証</p> <p>【実験 1】 複数の自動運転車の駐車支援</p> <p>【実験 2】 自動運転車 一般車 混在下での駐車支援</p>	
<p>実施場所</p>	<p>けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK) 京都府相楽郡精華町精華台7丁目5-1</p>	
<p>実施期間</p>	<p>2021年2月1日 (月) 14:00 ~ 15:30</p> <p>※実証実験実施にあたっては、各種ガイドラインなど感染症対策を徹底したうえで、実施いたします ※※悪天候の場合、実験を中止いたします</p>	
<p>主な役割</p>	<p>ゼロ・サム</p>	<p>自動車向けナビゲーションシステム開発経験から、自動バレーパーキング向け同時複数車両の経路誘導ナビシステムを開発。</p>
	<p>日本信号</p>	<p>自動バレー管制システムの全体設計。カメラなどインフラシステムを使用し、自動運転車の安全な運航を支援</p>
	<p>協力</p>	<p>京都府 ・ 関西文化学術研究都市推進機構</p>

*全国初の企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォーム

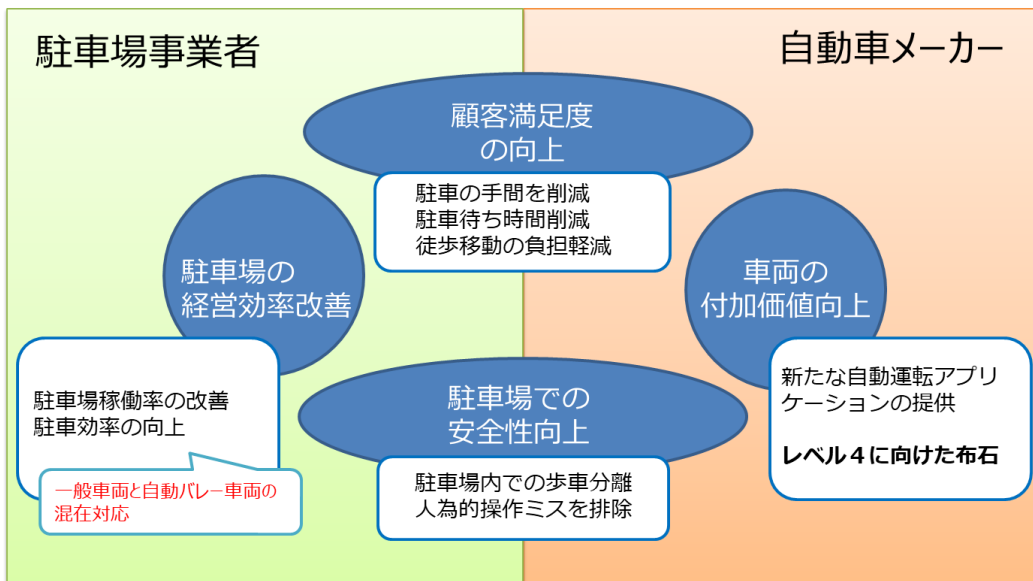
自動バレーパーキングとは

隣接施設などへのアクセスが**便利な位置**で**降車**し、ユーザーがスマートフォンなどの端末を使って**自動駐車のリクエスト**をすると、ドライバーが立ち会うことなく**無人で自動的に駐車**でき、**出庫**の際も同様に**ユーザーのリクエスト**により、**乗車地点まで迎え**に来てくれる**自動駐車システム**



自動バレーパーキング 概要イメージ

駐車場利用における**顧客満足度の向上**及び**安全性向上**が見込まれるとともに、駐車場業界からは、駐車場の**経営効率改善**、自動車業界からは、**車両の付加価値向上**が期待されている



自動バレーパーキング により期待される効果

(参考) システム、インフラ設置機器

システム特徴

- 制御方式は、車両／インフラ協調型。混在交通に対応
- インフラ側で同時複数車両の経路誘導を実施、車両側での経路探索不要
- 駐車場内での障害物検知機能、無線通信による緊急停止機能を搭載し安全性向上



駐車場内に AI カメラを設置。駐車場内での一般車両検知や異常検知など、駐車場の安全確保に活用。



ビジュアライザーを用い、自動運転車両の駐車場内での経路情報などを明示（上図はKICK駐車場を再現したもの）



自動運転車両には自動運転開発向け車両を利用。自動運転 OS は、自動車メーカーの自動運転車両でも利用されている Autoware

(参考) 関係各社の概要

■ 株式会社ゼロ・サム

代表者 : 代表取締役 菊池 力
設 立 : 2004年6月24日
所在地 : 京都市下京区醍醐町284
YMC 烏丸五条ビル 7F
事業内容 : 自動車ITS、道路ITS

■ 日本信号株式会社

代表者 : 代表取締役社長 塚本英彦
設 立 : 1928年12月27日
所在地 : 東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング13階
事業内容 : 鉄道信号、交通情報システム、
制御機器、駐車場システム、
AFC等の製造および販売